

お住まいの地域についてうかがいます

問1 お住まいの地区として当てはまる番号1つに○をつけてください

1. 北エリア： 新倉1～8丁目、下新倉1～6丁目、白子3・4丁目
2. 中央エリア： 中央1・2丁目、丸山台1～3丁目、西大和団地、本町
3. 南エリア： 白子1・2丁目、南1・2丁目、諏訪、諏訪原団地、広沢

封筒の宛名のお子さんご家族の状況についてうかがいます

問2 宛名のお子さんの生年月月をご記入ください。

(口内に数字でご記入ください。数字は一枠に一字ずつ)

平成 年 月生まれ

問3 ~~宛名のお子さんのきょうだい~~ **お** ~~は~~ **何** ~~人~~ **い** ~~ら~~ **っ** ~~し~~ **ゃ** ~~い~~ **ま** ~~す~~ **か**。宛名のお子さんを含めた人数を口内に数字でご記入ください。お2人以上のお子さんがいらっしゃる場合は、末子の生年月月をご記入ください。

きょうだい数

お子さんの数

末子の生年月

平成

年

月

問4 この調査票にご回答いただく方はどなたですか。宛名のお子さんからみた関係でお答えください。当てはまる番号1つに○をつけてください。

1. 母親
2. 父親
3. その他 [具体的に：]

問5 この調査票にご回答いただいている方の配偶関係についてお答えください。当てはまる番号に1つ○をつけてください。

1. 配偶者がいる
2. 配偶者はいない

子どもの育ちをめぐる環境についてうかがいます

問6 宛名のお子さんの子育て(教育を含む)に日常的に関わっている方はどなた(施設)ですか。お子さんから見た関係で当てはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 父母ともに
2. 主に母親
3. 主に父親
4. 主に祖父母
5. 認定**子**こども園
6. 幼稚園
7. 保育園
8. その他 [具体的に：]

問7 宛名のお子さんの子育て(教育を含む)に**もっとも大きく**影響すると思われる環境すべてに○をつけてください。

1. 家庭
2. 地域
3. 認定こども園
4. 幼稚園
5. 保育園
6. その他
[具体的に：]

問8 日頃、宛名のお子さんをみてもらえる親族・知人はいますか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

- | | |
|------------------------------------|---------|
| 1. 日常的に祖父母等の親族にみてもらえる | } 問8-1へ |
| 2. 緊急時もしくは用事の際には祖父母等の親族にみてもらえる | |
| 3. 日常的に子どもをみてもらえる友人・知人がいる | } 問8-2へ |
| 4. 緊急時もしくは用事の際には子どもをみてもらえる友人・知人がいる | |
| 5. いずれもない | → 問9へ |

問8-1 問8で「1.」または「2.」に○をつけた方にうかがいます。祖父母等の親族にお子さんをみてもらっている状況についてお答えください。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

- | |
|---|
| 1. 祖父母等の親族の身体的・精神的な負担や時間的制約を心配することなく、安心して子どもをみてもらえる |
| 2. 祖父母等の親族の身体的負担が大きく心配である |
| 3. 祖父母等の親族の時間的制約や精神的な負担が大きく心配である |
| 4. 自分たち親の立場として、負担をかけていることが心苦しい |
| 5. 子どもの教育や発達にとってふさわしい環境であるか、少し不安がある |
| 6. その他 [具体的に：] |

問8-2 問8で「3.」または「4.」に○をつけた方にうかがいます。友人・知人にお子さんをみてもらっている状況についてお答えください。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

- | |
|---|
| 1. 友人・知人の身体的・精神的な負担や時間的制約を心配することなく、安心して子どもをみてもらえる |
| 2. 友人・知人の身体的負担が大きく心配である |
| 3. 友人・知人の時間的制約や精神的な負担が大きく心配である |
| 4. 自分たち親の立場として、負担をかけていることが心苦しい |
| 5. 子どもの教育や発達にとってふさわしい環境であるか、少し不安がある |
| 6. その他 [具体的に：] |

問9 宛名のお子さんの子育て(教育を含む)をする上で、気軽に相談できる人はいますか。また、相談できる場所がありますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

- | | | | |
|----------|---------|-------|--------|
| 1. いる/ある | → 問9-1へ | 2. ない | → 問10へ |
|----------|---------|-------|--------|

問 9-1 問 9 で「1. いる／ある」に○をつけた方にうかがいます。お子さんの子育て(教育を含む)に関して、気軽に相談できる先は、誰(どこ)ですか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 祖父母等の家族	2. 友人や知人
3. 近所の人	4. 子育て支援施設(子育て世代包括支援センターなど)
5. NPO	6. 保健所・保健センター
7. 保育士	8. 幼稚園教諭
9. 民生委員・児童委員	10. かかりつけの医師
11. 和光市の子育て関連担当窓口	12. インターネット
13. その他 [具体的に :]

問10 子育て(教育を含む)をする上で、周囲(身近な人、行政担当者など)からどのようなサポートがあればよいとお考えでしょうか。ご自由にお書きください。

宛名のお子さんの保護者の就労状況
についてうかがいます

※ 問 11～問 13-1 までの「フルタイム」とは、「1週5日程度・1日8時間程度の就労」を、「パート・アルバイト」とは上記以外を指します

問11 宛名のお子さんの保護者の現在の就労状況(自営業、家族従事者含む)をうかがいます。

(1) **母親** 【父子家庭の場合、記入は不要です】

当てはまる番号1つに○をつけてください。

1. フルタイムで就労しており、産休・育休・介護休業中ではない	}	(1)-1へ
2. フルタイムで就労しているが、産休・育休・介護休業中である		
3. パート・アルバイト等で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない		
4. パート・アルバイト等で就労しているが、産休・育休・介護休業中である		
5. 以前は就労していたが、現在は就労していない	}	問13へ
6. これまで就労したことがない		
7. その他(例: 病気休業中など) [具体的に :		

(1)-1 (1)で「1. ～4. 」(就労している)に○をつけた方にうかがいます。1 週あたりの「就労日数」、1 日あたりの「就労時間(残業時間を含む)」をお答えください。就労日数や就労時間が一定でない場合は、もっとも多いパターンについてお答えください。産休・育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。(口内に数字でご記入ください。数字は一桁に一字。)

1 週あたり	□	日	1 日あたり	□	□	時間
--------	---	---	--------	---	---	----

(1)-2 (1)で「1.～4.」(就労している)に○をつけた方にうかがいます。家を出る時間と帰宅時間をお答えください。時間が一定でない場合は、もっとも多いパターンについてお答えください。産休・育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。時間は、24時間制でお答えください。(例:午後6時→18時)

1時間未満の端数がある場合、「家を出る時間」は切り捨てて、「帰宅時間」は切り上げてお答えください。(例:家を出る時間が午前8時30分→08時、帰宅時間が午後6時15分→19時)

(口内に数字でご記入ください。数字は一桁に一字。)

家を出る時間	□	□	時	帰宅時間	□	□	時
--------	---	---	---	------	---	---	---

(1)-3 (1)で「1.～4.」(就労している)に○をつけた方にうかがいます。通勤手段として電車を利用していますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

利用している場合は、自宅を出てから、最初に利用する駅を[]内に記入してください。

1. 利用している	2. 利用していない
[利用駅:]	

(2) **父 親** 【母子家庭の場合、記入は不要です】

当てはまる番号1つに○をつけてください。

1. フルタイムで就労しており、育休・介護休業中ではない 2. フルタイムで就労しているが、育休・介護休業中である 3. パート・アルバイト等で就労しており、育休・介護休業中ではない 4. パート・アルバイト等で就労しているが、育休・介護休業中である 5. 以前は就労していたが、現在は就労していない 6. これまで就労したことがない 7. その他(例:病気休業中など) [具体的に:]	} (2)-1へ } 問13へ
--	------------------------

(2)-1 (2)で「1.～4.」(就労している)に○をつけた方にうかがいます。1週当たりの「就労日数」、1日当たりの「就労時間(残業を含む)」をお答えください。就労日数や就労時間が一定でない場合は、もっとも多いパターンについてお答えください。育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。(口内に数字でご記入ください。数字は一桁に一字。)

1週当たり	□	日	1日当たり	□	□	時間
-------	---	---	-------	---	---	----

(2)-2 (2)で「1.～4.」(就労している)に○をつけた方にうかがいます。家を出る時間と帰宅時間をお答えください。時間が一定でない場合は、もっとも多いパターンについてお答えください。育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。時間は、24時間制でお答えください。(例:午後6時→18時)

1時間未満の端数がある場合、「家を出る時間」は切り捨てて、「帰宅時間」は切り上げてお答えください。(例:家を出る時間が午前8時30分→08時、帰宅時間が午後6時15分→19時)

(口内に数字でご記入ください。数字は一桁に一字。)

家を出る時間	□	□	時	帰宅時間	□	□	時
--------	---	---	---	------	---	---	---

(2)-3 (2)で「1. ~4.」(就労している)に○をつけた方にうかがいます。通勤手段として電車を利用していますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

利用している場合は、自宅を出てから、最初に利用する駅を[]内に記入してください。

- | | |
|-----------|------------|
| 1. 利用している | 2. 利用していない |
| [利用駅： |] |

問12 問11の(1)または(2)で「3. 4.」(パート・アルバイト等で就労している)に○をつけた方にうかがいます。該当しない方は、問13にお進みください。

フルタイムへの転換希望はありますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

(1) **母親**

- | |
|--|
| 1. フルタイムへの転換希望があり、実現できる見込みがある |
| 2. フルタイムへの転換希望はあるが、実現できる見込みはない → 問12-1へ |
| 3. パート・アルバイト等の就労を続けることを希望 |
| 4. パート・アルバイト等をやめて子育てや家事に専念したい |

(2) **父親**

- | |
|--|
| 1. フルタイムへの転換希望があり、実現できる見込みがある |
| 2. フルタイムへの転換希望はあるが、実現できる見込みはない → 問12-1へ |
| 3. パート・アルバイト等の就労を続けることを希望 |
| 4. パート・アルバイト等をやめて子育てや家事に専念したい |

問12-1 問12で「2.」に○をつけた方にうかがいます。見込みがないとする理由は何ですか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

(1) **母親**

- | |
|--|
| 1. 保育園に空きがなく、利用できないから |
| 2. 就職活動をする時間がないから |
| 3. 自分の知識、能力にあう仕事がないから |
| 4. フルタイムで働きながら子育てできる適当な仕事がないから |
| 5. 家族の考え方（親族の理解が得られない）等就労する環境が整っていないから |
| 6. その他 [具体的に：] |

(2) **父親**

- | |
|--|
| 1. 保育園に空きがなく、利用できないから |
| 2. 就職活動をする時間がないから |
| 3. 自分の知識、能力にあう仕事がないから |
| 4. フルタイムで働きながら子育てできる適当な仕事がないから |
| 5. 家族の考え方（親族の理解が得られない）等就労する環境が整っていないから |
| 6. その他 [具体的に：] |

問13 問11の(1)または(2)で「5. 以前は就労していたが、現在は就労していない」または「6. これまで就労したことがない」に○をつけた方にうかがいます。該当しない方は、問14へお進みください。就労したいという希望はありますか。当てはまる番号・記号それぞれ1つに○をつけ、該当する口内には数字をご記入ください。(数字は一桁に一字)

(1) **母親**

1. 子育てや家事に専念したい(就労の予定はない) 2. 1年より先、一番下の子どもが <input type="text"/> <input type="text"/> 歳になったところに就労したい 3. すぐにも、もしくは1年以内に就労したい → 問13-1へ →希望する就労形態 (ア. フルタイム イ. パートタイム、アルバイト等 →1週当たり <input type="text"/> 日 1日当たり <input type="text"/> <input type="text"/> 時間)	}	問14へ
---	---	------

(2) **父親**

1. 子育てや家事に専念したい(就労の予定はない) 2. 1年より先、一番下の子どもが <input type="text"/> <input type="text"/> 歳になったところに就労したい 3. すぐにも、もしくは1年以内に就労したい → 問13-1へ →希望する就労形態 (ア. フルタイム イ. パートタイム、アルバイト等 →1週当たり <input type="text"/> 日 1日当たり <input type="text"/> <input type="text"/> 時間)	}	問14へ
---	---	------

問13-1 問13(1)、(2)で「3.」に○をつけた方にうかがいます。現在就労していない理由は何ですか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

(1) **母親**

1. 保育園に空きがなく、利用できないから 2. 就職活動をする時間がないから 3. 自分の知識、能力にあう仕事がないから 4. フルタイムで働きながら子育てできる適当な仕事がないから 5. 家族の考え方(親族の理解が得られない)等就労する環境が整っていないから 6. その他[具体的に: _____]
--

(2) **父親**

1. 保育園に空きがなく、利用できないから 2. 就職活動をする時間がないから 3. 自分の知識、能力にあう仕事がないから 4. フルタイムで働きながら子育てできる適当な仕事がないから 5. 家族の考え方(親族の理解が得られない)等就労する環境が整っていないから 6. その他[具体的に: _____]
--

問 14-2 平日日中に「定期的に」利用している教育・保育の事業について、どのくらい利用していますか。また希望としてはどのくらい利用したいですか。1週当たり何日、1日当たり何時間(何時から何時まで)かを、口内に具体的な数字でご記入ください。

時間は、~~(例)09時～18時のように~~24時間制でご記入ください。(例:午後6時→18時)

1時間未満の端数がある場合、「利用開始の時間」は切り捨て、「利用終了の時間」は切り上げてお答えください。(例:利用開始が午前8時30分→08時、利用終了が午後6時15分→19時)(口内に数字でご記入ください。数字は一枠に一字。)

(1) 現在

1週当たり	<input type="text"/>	日	1日当たり	<input type="text"/>	<input type="text"/>	時間	(<input type="text"/>	<input type="text"/>	時～	<input type="text"/>	<input type="text"/>)
-------	----------------------	---	-------	----------------------	----------------------	----	---	----------------------	----------------------	----	----------------------	----------------------	---

(2) 希望

1週当たり	<input type="text"/>	日	1日当たり	<input type="text"/>	<input type="text"/>	時間	(<input type="text"/>	<input type="text"/>	時～	<input type="text"/>	<input type="text"/>)
-------	----------------------	---	-------	----------------------	----------------------	----	---	----------------------	----------------------	----	----------------------	----------------------	---

問 14-3 現在利用している教育・保育事業の実施場所についておうかがいします。(1)～(3)のそれぞれについて、当てはまる番号1つに○をつけてください。

(1) 実施場所

1. 和光市内	2. 和光市外
---------	---------

(2) その場所は希望通りの場所ですか

1. はい
2. いいえ → (理由: _____)

(3) 自宅からはどのような交通手段ですか。また、時間はどのくらいかかりますか。

交通手段
1. 自動車 2. 自転車 3. 徒歩 4. バス
時間: <input type="text"/> <input type="text"/> 分以内

問 14-4 平日日中に定期的に教育・保育の事業を利用されている理由についてうかがいます。主な理由として当てはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 子どもの教育や発達のため
2. 子育て(教育を含む)をしている方が現在就労している
3. 子育て(教育を含む)をしている方が就労予定がある/求職中である
4. 子育て(教育を含む)をしている方が家族・親族などを介護している
5. 子育て(教育を含む)をしている方が病気や障害がある
6. 子育て(教育を含む)をしている方が学生である
7. その他 [具体的に: _____]

問 14-5 宛名のお子さんが3歳以上で、問 14-1 で、1.2.4 以外に○をつけた方(幼稚園、認定こども園を利用されていない方)にうかがいます。

(1) 幼稚園に興味・関心がありますか。また、それは、どのような理由からですか。

- | |
|------------------------------|
| 1. ある
その理由 [具体的に： _____] |
| 2. ない |

(2) 現在、幼稚園を利用していない理由は何ですか。理由としてもっとも当てはまる番号1つに○をつけてください。

- | |
|--|
| 1. 子どもがまだ小さいため(____歳くらいになったら利用しようと考えている) |
| 2. 早朝・夕方等の預かり時間が短い |
| 3. 行きたい幼稚園に空きがない |
| 4. 経済的な理由 |
| 5. 質や場所など、納得できる幼稚園がない |
| 6. その他 [具体的に： _____] |

(3) 幼稚園によっては、平日や夏休み等の長期休みに預かり保育(延長保育)を実施しているところがあります。預かり保育を実施している場合、幼稚園を平日預かりの選択肢として検討しますか。

- | | |
|--------------------------|---------------------------|
| 1. 検討する。 → 以下(4)へ | 2. 検討しない。 → 問 15 へ |
|--------------------------|---------------------------|

(4) (3)で「1. 検討する。」に○をつけた方にうかがいます。預かり保育(早朝、夕方の延長保育)が何時まで実施されていれば幼稚園を利用しますか。それぞれ、理由としてもっとも当てはまる番号1つに○をつけてください。

〔早朝〕

1. 7:00から実施
2. 7:30から実施
3. 8:00から実施
4. 8:30から実施

〔夕方〕

1. 17:30まで実施
2. 18:00まで実施
3. 18:30まで実施
4. 19:00まで実施
5. 20:00まで実施

問 14-6 問 14 で「2. 利用していない」に○をつけた方(幼稚園や保育園などの定期的な教育・保育事業を利用していない方)にうかがいます。利用していない理由は何ですか。理由としてもっとも当てはまる番号1つに○をつけてください。

1. (子どもの教育や発達のため、子どもの母親か父親が就労していないなどの理由で) 利用する必要がない
2. 子どもの祖父母や親戚の人がみている
3. 近所の人や父母の友人・知人がみている
4. 利用したいが、教育・保育の事業に空きがない
5. 利用したいが、経済的な理由で事業を利用できない
6. 利用したいが、延長・夜間等の時間帯の条件が合わない
7. 利用したいが、事業の質や場所など、納得できる事業がない
8. 子どもがまだ小さいため(____歳くらいになったら利用しようと考えている)
9. その他 [具体的に： _____]

問15 すべての方にうかがいます。

政府は2019年10月に3歳以上の子どもについて世帯収入に関わらず幼稚園、保育所、認定こども園等の下記の事業の利用料を無償化(又は補助)する予定です。(無償化・補助には在籍する施設・利用する事業により上限額があります。)

現在、利用している、利用していないにかかわらず、宛名のお子さんの平日日中の教育・保育の事業として、「定期的に」利用したいと考える事業をお答えください。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

なお、これらの事業の利用には、一定の利用者負担が発生します。認可保育園の場合、世帯収入に応じた利用料が設定されています。(各事業の利用者負担については、別紙「就学前児童保護者調査票参考資料」1ページ～3ページを参照してください。市の事業として実施していないものについては、一部料金の記載がないものがあります。)

1. 幼稚園 (通常の就園時間の利用)	2. 幼稚園の預かり保育 (通常の就園時間を延長して預かる事業のうち定期的な利用のみ)
3. 認可保育所 (国が定める最低基準に適合した施設で都道府県等の認可を受けた定員20人以上のもの)	4. 認定こども園 (幼稚園と保育施設の機能を併せ持つ施設)
5. 小規模な保育施設 (国が定める最低基準に適合した施設で市町村の認可を受けた定員が概ね6～19人のもの)	6. 家庭的保育 (保育者の家庭で5人以下の子どもを保育する事業)
7. 企業が主に従業員用に運営する施設 (事業所内保育施設 ・企業主導型保育事業施設)	8. 家庭保育室 (家庭を基盤とした環境で乳幼児の保育を行っている施設。市が指定し、乳幼児の保育を委託している)
9. その他の認可外の保育施設	10. 居宅訪問型保育 (ベビーシッターのような保育者が子どもの家庭で保育する事業)
11. ファミリー・サポート・センター (地域住民が子どもを預かる事業)	12. 一時保育の非定型利用 (保護者の労働、職業訓練等を条件に週3日まで、一時保育室で子どもを預かる事業)
13. その他 [具体的に：]	

問 15-1 教育・保育事業を利用したい場所についてうかがいます。~~1. 1. 2. 2.~~のいずれかに○をつけてください。

1. 和光市内	2. 和光市以外	3. 自宅から近ければ市内・市外にこだわらない
---------	----------	-------------------------

問 15-2 問 14-1 で「1.幼稚園(通常の就園時間の利用)または「2.幼稚園の預かり保育」に○をつけ、かつ 32~12にも○をつけた方にうかがいます。特に幼稚園(幼稚園の預かり保育をあわせて利用する場合を含む)の利用を強く希望しますか。当てはまる番号に○をつけてください。

1. はい	2. いいえ
-------	--------

宛名のお子さんのネウボラ拠点(子育て世代包括支援センター等)の利用状況についてうかがいます。

問16 宛名のお子さんは、現在、~~地域子育て支援拠点事業ネウボラ拠点(親子が集まって過ごしたり、相談をしたり、情報提供を受けたりする場で、「子育て世代包括支援センター等」と呼ばれていませ)~~を利用していますか。おおよその利用回数(頻度)を口内に数字でご記入ください(数字は一桁に一字)。

1. ~~子育て世代包括支援センター~~ 利用している → **問16-1へ**
 1週当たり 回 もしくは 1ヶ月当たり 回 程度

2. 利用していない → **問16-2へ**

問 16-1 問 16 で「1. **利用している**」に○をつけた方にうかがいます。当てはまる番号に○をつけてください。

(1) 利用している場所(主に利用しているもの1つに○)

1. 南子育て世代包括支援センター	2. 本町子育て世代包括支援センター
3. 中央子育て世代包括支援センター	4. 北子育て世代包括支援センター
5. 北第二子育て世代包括支援センター	

(2) その場所は希望通りの場所にありますか。

1. はい

2. いいえ → (理由: _____)

(3) 自宅から利用している交通手段は何ですか。当てはまる番号1つに○をつけてください。また、利用している場所までかかる時間を口内に数字でご記入ください(数字は一桁に一字)。

交通手段

1. 自動車	2. 自転車	3. 徒歩	4. バス
--------	--------	-------	-------

時間: 分以内 → **問17へ**

問 16-2 問 16 で「2. 利用していない」に○をつけた方にうかがいます。利用していない理由は何ですか。理由としてもっとも当てはまる番号1つに○をつけてください。

1. 事業の場所が遠い → **問 16-3 へ**
2. 曜日、時間が合わない
3. 友達がいないので入りづらい
4. 場所がわからない
- ~~5. 利用料がかかる→高い~~
- ~~6. サービスの質に不安がある~~
5. ~~自分が事業の対象者になるかわからない~~ネウボラ拠点について知らない
6. 事業の利用方法がわからない
7. 特に利用する必要がない
8. その他〔具体的に：]

2.~8.に○をつけた方は、問 17 へ

問 16-3 問 16-2 で「1. 事業の場所が遠い」に○をつけた方にうかがいます。自宅から利用可能な交通手段は何ですか。当てはまる番号1つに○をつけてください。また、その交通手段を使って何分以内であれば利用可能であると思いますか(数字は一桁に一字)。

交通手段

1. 自動車 2. 自転車 3. 徒歩

時間： 分以内

問 17 問 16 のようなネウボラ拠点について、今は利用していないが、できれば今後利用したい、あるいは、利用日数を増やしたいと思いませんか。当てはまる番号1つに○をつけて、おおよその利用回数(頻度)を口内に数字でご記入ください(数字は一桁に一字)。

1. 利用していないが、今後利用したい
1 週当たり 回 もしくは 1 ヶ月当たり 回 程度
2. すでに利用しているが、今後利用日数を増やしたい
1 週当たり 回 もしくは 1 ヶ月当たり 回 程度
3. 新たに利用したり、利用日数を増やしたいとは思わない

問18 下記の事業は、市が独自で実施している子育て支援事業です。これらの中で知っているものや、これまでに利用したことがあるもの、今後、利用したいと思うものをお答えください。①～~~⑭~~⑮の事業ごとに、A～Cのそれぞれについて、当てはまる数字に○をつけてください。なお、お住まいの地域で実施されていないものもあります。
各事業の内容については、別紙「就学前児童保護者調査票参考資料」~~34~~～5ページを参照してください。

	A 【認知状況】		B 【利用経験】		C 【今後の利用意向】 (継続含む)	
	知っている	知らない	これまでに利用したことがある	これまでに利用したことがない	今後利用したいと思っている	今後もしないと思わない
①プレパパママ教室（両親学級）	1	2	1	2	1	2
②新米ママ教室	1	2	1	2	1	2
③赤ちゃん学級	1	2	1	2	1	2
④子どもの発育・発達相談・乳児相談	1	2	1	2	1	2
⑤保育園や幼稚園のあそぼう会等 (園庭開放・相談等)	1	2	1	2	1	2
⑦子育ての個別総合相談窓口 (子育て世代包括支援センター)	1	2	1	2	1	2
⑥産前・産後ケア事業（通所型サービス）	1	2	1	2	1	2
⑦産前・産後ケア事業（自宅訪問型サービス）	1	2	1	2	1	2
⑧ファミリーサポートセンター	1	2	1	2	1	2
⑧家庭訪問型子育て支援事業 (ホームスタート事業)	1	2	1	2	1	2
⑨わしゃぷれら〜ム	1	2	1	2	1	2
⑨児童センター(館)・児童館	1	2	1	2	1	2
⑩子ども教室	1	2	1	2	1	2
⑪わこうっこクラブ	1	2	1	2	1	2
⑫わこうプレーパーク	1	2	1	2	1	2
⑬救急電話相談(＃7119)	1	2	1	2	1	2
⑭パパママ応援ショップ優待カード	1	2	1	2	1	2
⑮3キュー子育てチケット事業	1	2	1	2	1	2
⑯多子世帯応援ショップ制度	1	2	1	2	1	2

宛名のお子さんの土曜・休日や長期休暇中の「定期的な」
教育・保育事業の利用希望についてうかがいます。

~~※教育・保育事業とは、「保育園」、「幼稚園」、「家庭保育室」などの事業を指します。親族・知人による預かりは含みません。~~

~~※和光市では、日曜日・祝日保育(12月29日から1月3日を除く)を、みなみ保育園一時保育室で実施しています。(利用料金は、1日2,200円)~~

問19 宛名のお子さんについて、土曜日と日曜日・祝日に、「定期的」な教育・保育の事業の利用希望はありますか(一時的な利用は除きます)。希望がある場合は、利用したい時間帯を、~~(例)09時→18時のよう~~に24時間制でご記入ください。(例:午後6時→18時)

なお、これらの事業の利用には、一定の利用者負担が発生します。(みなみ保育園一時保育室の場合:1日2,200円)1時間未満の端数がある場合、「利用開始の時間」は切り捨てて、「利用終了の時間」は切り上げてお答えください。(例:利用開始が午前8時30分→08時、利用終了が午後6時15分→19時)

(1)土曜日

1. 利用する必要はない	} → 利用したい時間帯		
2. ほぼ毎週利用したい		<input type="text"/>	<input type="text"/>
3. 月に1~2回は利用したい		時から	時まで

(2)日曜・祝日

1. 利用する必要はない	} → 利用したい時間帯		
2. ほぼ毎週利用したい		<input type="text"/>	<input type="text"/>
3. 月に1~2回は利用したい		時から	時まで

問 19-1 問 19 の(1)もしくは(2)で、「3. 月に1~2回は利用したい」に○をつけた方にうかがいます。毎週ではなく、たまに利用したい理由は何ですか? 当てはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 月に数回仕事が入るため]
2. 平日に済ませられない用事をまとめて済ませるため	
3. 親等親族の介護や手伝いが必要なため	
4. 息抜きのため	
5. その他 [具体的に :	

問20 「幼稚園」を利用されている方にうかがいます。宛名のお子さんについて、夏休み・冬休みなど長期の休暇期間中の教育・保育の事業の利用を希望しますか。希望がある場合は、利用したい時間帯を、~~(例)09時→18時のように~~24時間制でご記入ください。(例：午後6時→18時)
 なお、これらの事業の利用には、一定の利用者負担が発生します。1時間未満の端数がある場合、「利用開始の時間」は切り捨てて、「利用終了の時間」は切り上げてお答えください。(例：利用開始が午前8時30分→08時、利用終了が午後6時15分→19時)

1. 利用する必要はない	} →	利用したい時間帯	
2. 休みの期間中、ほぼ毎日利用したい		<input type="text"/>	<input type="text"/>
3. 休みの期間中、週に数日利用したい		時から	時まで

問 20-1 問 20 で「2.」または「3.」に○をつけた方にうかがいます。利用を希望する場所はどこですか。

1. 利用している幼稚園	
2. 一時保育室など	
3. その他〔具体的に：	〕

問 20-2 問 20 で「3. 週に数日利用したい」に○をつけた方にうかがいます。毎日ではなく、たまに利用したい理由は何ですか？当てはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 週に数回仕事が入るため	
2. 買い物等の用事をまとめて済ませるため	
3. 親等親族の介護や手伝いが必要なため	
4. 息抜きのため	
5. その他〔具体的に：	〕

宛名のお子さんの病気の際の対応についてうかがいます。
 (平日日中の教育・保育を利用する方のみ)

問21 平日日中の定期的な教育・保育の事業を利用していると答えた保護者の方(問 14 で1に○をつけた方)にうかがいます。利用していらっしゃらない方は、問 22 にお進みください。
 この1年間に、宛名のお子さんが病気やけがで普段利用している教育・保育の事業が利用できなかったことはありますか

1. あった → 問 21-1 へ	2. なかった → 問 22 へ
--------------------------	-------------------------

問 21-1 宛名のお子さんが病気やけがで普段利用している教育、保育の事業が利用できなかった場合に、この1年間に行った対処方法として当てはまる記号すべてに○をつけ、それぞれの日数も口内に数字でご記入ください。(半日程度の対応の場合も1日とカウントしてください。数字は一桁に一字。)

問21-2
へ

〔1年間の対処方法〕	〔日数〕
ア. 父親が休んだ	<input type="text"/> <input type="text"/> 日
イ. 母親が休んだ	<input type="text"/> <input type="text"/> 日
ウ. (同居者を含む) 親族・知人に子どもをみてもらった	<input type="text"/> <input type="text"/> 日
エ. 父親又は母親のうち、就労していない方が子どもをみた	<input type="text"/> <input type="text"/> 日
オ. 病児・病後児の保育を利用した	<input type="text"/> <input type="text"/> 日
カ. ベビーシッターを利用した	<input type="text"/> <input type="text"/> 日
キ. ファミリー・サポート・センターを利用した	<input type="text"/> <input type="text"/> 日
ク. 仕方なく子どもだけで留守番させた	<input type="text"/> <input type="text"/> 日
ケ. その他〔具体的に： <input type="text"/> 〕	<input type="text"/> <input type="text"/> 日

※「キ. ファミリー・サポート・センター」には、「和光市緊急サポート事業」による利用も含まれます。

問 21-2 問 21-1 で「ア.」「イ.」のいずれかに回答した方にうかがいます。その際、「できれば病児・病後児のための保育施設等を利用したい」と思われましたか。当てはまる番号1つに○をつけ、日数についても口内に数字でご記入ください(数字は一桁に一字)。

なお、病児・病後児のための事業等の利用には、一定の利用料がかかり、利用前にかかりつけ医の受診が必要となります。利用料については、別紙「就学前児童保護者調査票参考資料」45ページを参照してください。

1. できれば病児・病後児保育施設等を利用したい	<input type="text"/> <input type="text"/> 日/年	→ 問21-3へ
2. 利用したいとは思わない		→ 問22へ

問 21-3 問 21-2 で「1. できれば病児・病後児保育施設等を利用したい」に○をつけた方にうかがいます。上記の理由で子どもを預ける場合、下記のいずれの事業形態が好ましいと思われませんか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

どのような理由により、病児保育・病後児保育を利用したいと思われませんか。

1. 大規模施設(例:幼稚園・保育園等)に併設した施設で子どもを保育する事業
2. 小児科に併設した施設で子どもを保育する事業
3. 小規模施設で子どもを保育する事業(例:地域子育て支援拠点等)
4. 地域住民が子育て家庭の身近な場所で保育する事業 (例:ファミリー・サポート・センター等)
5. その他〔具体的に:〕
1. 仕事で休暇が長く取れない
2. 親や知人で預かってくれる人がいない
3. その他〔具体的に: <input type="text"/> 〕

~~問 21-4 問 21-2 で「利用したいと思わない」に○をつけた方にうかがいます。そう思われる理由について、当てはまる番号すべてに○をつけてください。~~

- ~~1. 病児・病後児を他人に看てもらうのは不安~~
- ~~2. 地域の事業の質に不安がある~~
- ~~3. 地域の事業の利便性（立地や利用可能時間・日数など）がよくない~~
- ~~4. 利用料がかかる・高い~~
- ~~5. 利用料がわからない~~
- ~~6. 親が仕事を休んで対応できる~~
- ~~7. その他〔具体的に：〕~~

問 21-4 病児・病後児保育を利用するために申し込みをしたが、受け入れてもらえなかったことがありますか。

- 1. はい
- 2. いいえ → **問 22 へ**

~~問 21-5 問 21-1 で「ウ。」から「ケ。」のいずれかに回答した方にうかがいます。その際、「できれば父母のいずれかが仕事を休んで看たい」と思われましたか。当てはまる番号1つに○をつけ、日数についても日内に数字でご記入ください。~~

- ~~1. できれば仕事を休んで看たい~~ →

--	--

 日 → **問 22 へ**
- ~~2. 休んで看る事は考えらない~~ → **問 21-6 へ**

問 21-5 その理由はどのようなものでしたか？

- 1. 受入定員を超えていた
- 2. 病気、けがの状態が重かった
- 3. その他〔具体的に：]

~~問 21-6 問 21-5 で「休んで看ることは考えられない」に○をつけた方にうかがいます。そう思われる理由について、当てはまる番号すべてに○をつけてください。~~

- ~~1. 子どもの看護を理由に休みがとれない~~
- ~~2. 自営業なので休めない~~
- ~~3. 休暇日数が足りないのでは休めない~~
- ~~4. その他〔具体的に：〕~~

**宛名のお子さんの不定期の教育・保育事業や宿泊を伴う
一時預かり等の利用についてうかがいます。**

問22 宛名のお子さんについて、日中の定期的な保育や病気のため以外に、私用(冠婚葬祭、リフレッシュ等)、親の通院、不定期の就労等の目的で不定期に利用している事業はありますか。ある場合は、当てはまる番号すべてに○をつけ、1か月年間の利用日数(おおよそ)も口内に数字でご記入ください。

〔利用している事業・日数(月年間)〕	
1. 一時預かり (私用など理由を問わずに一時保育室などで一時的に子どもを保育する事業)	□ □ 日
2. 幼稚園の預かり保育 (通常の就園時間を延長して預かる事業のうち不定期に利用する場合のみ)	□ □ 日
3. ファミリー・サポート・センター (地域住民が子どもを預かる事業)	□ □ 日
4. 夜間養護等事業：トワイライトステイ (児童養護施設等で休日・夜間、子どもを預かる事業)	□ □ 日
5. ベビーシッター	□ □ 日
6. その他〔具体的に： _____ 〕	□ □ 日
7. 利用していない → 問22-1へ	

→ 問23へ

問22-1 問22で「7. 利用していない」と回答した方にうかがいます。現在利用していない理由は何ですか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 事業の場所が遠い	
2. 曜日、時間が合わない (一時保育室等に空きがなかった場合を含む)	
3. 場所がわからない	
4. 利用料がかかる・高い	
5. サービスの質に不安がある	
6. 自分が事業の対象者になるかわからない	
7. 事業の利用方法がわからない	
8. 特に利用する必要がない	
9. その他〔具体的に： _____ 〕]

問24 この1年間に、保護者の用事(冠婚葬祭、保護者・家族の病気など)により、宛名のお子さんを泊りがけで家族以外にみてもらわなければならないことがありましたか。(預け先が見つからなかった場合も含みます)。あった場合は、この1年間の対処方法として当てはまる記号すべてに○をつけ、それぞれの日数も口内に数字で記入ください(数字は一桁に一字)。

1. あった	〔1年間の対処方法〕	〔日数〕
	ア. (同居を含む) 親族・知人にみてもらった	<input type="text"/> <input type="text"/> 泊 → 問24-1へ
	イ. 短期入所支援援助事業(ショートステイ)を利用した。 (児童養護施設等で一定期間、子どもを 保養護 する事業)	<input type="text"/> <input type="text"/> 泊
	ウ. イ以外の保育事業(認可外保育施設、ベビーシッター等)を利用した	<input type="text"/> <input type="text"/> 泊
	エ. 仕方なく子どもを同行させた	<input type="text"/> <input type="text"/> 泊
	オ. 仕方なく子どもだけで留守番させた	<input type="text"/> <input type="text"/> 泊
	カ. その他〔具体的に： <input type="text"/> 〕	<input type="text"/> <input type="text"/> 泊
2. なかった		

※ア. 以外を選択した方は、22 ページへお進みください。

問 24-1 問 24 で「1. あった ア. (同居者を含む)親族・知人にみてもらった」と回答した方にうかがいます。

その場合の困難度はどの程度でしたか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

1. 非常に困難	2. どちらかという困難	3. 特に困難ではない
----------	--------------	-------------

宛名のお子さんが5歳以上である方に、小学校就学後の
放課後の過ごし方についてうかがいます。

→ 宛名のお子さんが5歳未満の方は
問 29(25ページ)へ

問25 宛名のお子さんについて、小学校低学年(1～3年生)のほうこうでは、放課後(平日の小学校終了後)の時間をどのような場所で過ごさせたいと思いますか。当てはまる番号すべてに○をつけ、それぞれ希望する1週当たりの日数を数字でご記入ください。また「学童クラブ」の場合には、利用を希望する時間も口内に数字でご記入ください。時間は、~~(例)18時のように~~24時間制でご記入ください。(例:午後6時→18時)1時間未満の端数がある場合は、切り上げてお答えください。(例:午後6時15分→19時)

「学童クラブ」… 地域によって学童保育などと呼ばれています。保護者が就労等により昼間家庭にいない場合などに、指導員の下、子どもの生活の場を提供するものです。事業の利用にあたっては、一定の利用料がかかります。利用料については、別紙「就学前児童保護者調査票参考資料」45～6 ページを参照してください。

1. 自宅	週	<input type="text"/>	日くらい
2. 祖父母宅や友人・知人宅	週	<input type="text"/>	日くらい
3. 習い事 (ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など)	週	<input type="text"/>	日くらい
4. 児童センター(館) ※児童センター(館)に併設された <u>保育学童クラブ</u> を利用する場合は「 6 7。」に回答	週	<input type="text"/>	日くらい
5. <u>放課後子ども教室</u> ※1	週	<input type="text"/>	日くらい
6. わこうっこクラブ※2	週	<input type="text"/>	日くらい
7. 学童クラブ(放課後児童クラブ) ⇒下校時から <input type="text"/> <input type="text"/> 時まで	週	<input type="text"/>	日くらい
8. <u>ファミリー・サポート・センター</u>	週	<input type="text"/>	日くらい
9. その他(公民館、 <u>図書館</u> 、公園など)	週	<input type="text"/>	日くらい

※1「放課後子ども教室」… 地域の方々の協力を得て、放課後に小学校で学習・スポーツ・文化芸術活動などを体験する取組です。保護者の就労の有無に関わらず、すべての小学生が利用できます。

【開催校】 市内全小学校

【開催日・開催時間】 各校月2回～3回 15:30～16:45

※2「わこうっこクラブ」… 小学校の余裕教室等を活用し、児童が教育活動サポーターの見守りのもと、宿題・自主学習・室内遊び・外遊び等をして放課後を安全に過ごす居場所です。保護者の就労の有無に関わらず、~~すべての小学生~~開催校の児童が利用できます。

【開催校】 新倉小学校・第三小学校・第四小学校・北原小学校・下新倉小学校
 ※2019年度は白子小学校、第五小学校で開設予定

【開催日・開催時間】 平日：給食がある月曜日から金曜日まで放課後～17時

※第五小学校のみ給食の無い日も開催

長期休業日：9時～正午 ※第五小学校のみ9時～17時

問26 宛名のお子さんについて、小学校高学年(4～6年生)になったら、放課後(平日の小学校終了後)の時間をどのような場所で過ごさせたいと思いますか。当てはまる番号すべてに○をつけ、それぞれの1週当たりの日数を数字でご記入ください。また「**保育学童クラブ**」の場合には、利用を希望する時間も口内に数字でご記入ください。時間は、~~(例)18時のように~~24時間制でご記入ください。(例：午後6時→18時)1時間未満の端数がある場合は、切り上げてお答えください。(例：午後6時15分→19時)

※だいたい先のことになりますが、現在お持ちのイメージでお答えください。

1. 自宅	週	<input type="text"/>	日くらい
2. 祖父母宅や友人・知人宅	週	<input type="text"/>	日くらい
3. 習い事 (ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など)	週	<input type="text"/>	日くらい
4. 児童センター(館) ※児童センター(館)に併設された 保育学童クラブ を利用する場合は「 6 7。」に回答	週	<input type="text"/>	日くらい
5. 放課後 子ども教室	週	<input type="text"/>	日くらい
6. わこうっこクラブ	週	<input type="text"/>	日くらい
7. 学童クラブ (放課後児童クラブ) ⇒下校時から	週	<input type="text"/>	日くらい
		<input type="text"/>	時まで
8. ファミリー・サポート・センター	週	<input type="text"/>	日くらい
9. その他(公民館、 図書館 、公園など)	週	<input type="text"/>	日くらい

問27 問 25 または問 26 で「7. 学童クラブ」に○をつけた方にうかがいます。宛名のお子さんについて、土曜日と日曜日・祝日に、**保育学童クラブ**の利用希望はありますか。事業の利用には、一定の利用料がかかります。(1)(2)それぞれについて、当てはまる番号1つに○をつけてください。また、利用したい時間帯を口内に(例)09時～18時のように24時間制でご記入ください。(例:午後6時→18時)1時間未満の端数がある場合、「利用開始の時間」は切り捨て、「利用終了の時間」は切り上げてお答えください。(例:利用開始が午前8時30分→08時、利用終了が午後6時15分→19時 数字は一枠に一字。)

(1)土曜日

1. 低学年（1～3年生）の間は利用したい	} → 利用したい時間帯
2. 高学年（4～6年生）になっても利用したい	
3. 利用する必要はない	

[] [] 時から [] [] 時まで

(2)日曜・祝日

1. 低学年（1～3年生）の間は利用したい	} → 利用したい時間帯
2. 高学年（4～6年生）になっても利用したい	
3. 利用する必要はない	

[] [] 時から [] [] 時まで

問28 宛名のお子さんについて、お子さんの夏休み・冬休みなどの長期の休暇期間中の**保育学童クラブ**の利用希望はありますか。事業の利用には、一定の利用料がかかります。当てはまる番号1つに○をつけてください。また、利用したい時間帯を口内に24時間制でご記入ください(例:午後6時→18時 数字は一枠に一字。)

1. 低学年（1～3年生）の間は利用したい	} → 利用したい時間帯
2. 高学年（4～6年生）になっても利用したい	
3. 利用する必要はない	

[] [] 時から [] [] 時まで

ここから宛名のお子さんが5歳未満の方も含む、すべての方がお答えください。
 育児休業や短時間勤務制度など
 職場の両立支援制度についてうかがいます。

問29 宛名のお子さんが生まれた時、父母いずれかもしくは双方が育児休業を取得しましたか。母親、父親それぞれについて、当てはまる番号1つに○をつけ、該当する口内に数字をご記入下さい（数字は一枠に一字）。また、取得していない方はその理由をご記入ください。

母親（いずれかに○）	父親（いずれかに○）
1. 働いていなかった	1. 働いていなかった
2. 取得した（取得中である）	2. 取得した（取得中である） ⇒取得期間 <input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/> 日
3. 取得していない ⇒ <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content;">取得していない理由 （下から番号を選んでご記入ください）（いくつでも）</div>	3. 取得していない ⇒ <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content;">取得していない理由 （下から番号を選んでご記入ください）（いくつでも）</div>

1. 職場に育児休業を取りにくい雰囲気がある
 2. 仕事が忙しかった
 3. （産休後に）仕事に早く復帰したかった
 4. 仕事に戻るのが難しそうだった
 5. 昇給・昇格などが遅れそうだった
 6. 収入減となり、経済的に苦しくなる
 7. 保育園などに預けることができた
 8. 配偶者が育児休業制度を利用した
 9. 配偶者が無職、祖父母等の親族にみてもらえるなど、制度を利用する必要がなかった
 10. 子育てや家事に専念するため退職した
 11. 職場に育児休業の制度がなかった（就業規則に定めがなかった）
 12. 有期雇用のため育児休業の取得要件を満たさなかった
 13. 育児休業を取得できることを知らなかった
 14. その他 [具体的に：]

問 29-1 問 29 で母親が「2. 取得した(取得中である)」と回答した方にうかがいます。育児休業取得後、職場に復帰しましたか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

- | | |
|--------------------|-------------|
| 1. 育児休業取得後、職場に復帰した | → 問 29-2 へ |
| 2. 現在も育児休業中である | → 問 29-78 へ |
| 3. 育児休業中に離職した | → 問 30 へ |

問 29-2 問 29-1 で「1. 育児休業取得後、職場に復帰した」と回答した方にうかがいます。育児休業から職場に復帰したのは、年度初めの保育園入所に合わせたタイミングでしたか？あるいはそれ以外でしたか。どちらか1つに○をつけてください。※年度初めでの認可保育園入所を希望して、1月～2月頃復帰して一時的に認可外保育園に入所した場合なども「1.」に当てはまります。また、年度初めでの入所を希望して復帰したが、実際には希望する保育園に入所できなかったという場合も「1.」を選択してください。

- | |
|-------------------------|
| 1. 年度初めの入所に合わせたタイミングだった |
| 2. それ以外だった |

問 29-3 育児休業からは、「実際」にお子さんが何歳何ヶ月の時に職場復帰しましたか。また、お勤め先の育児休業制度の期間内で「希望」としてはお子さんが何歳何ヶ月の時まで取りたかったですか。□内に数字でご記入ください(数字は一桁に一字)。

実際の取得期間	<input type="text"/> 歳	<input type="text"/> <input type="text"/> ヶ月まで	希望	<input type="text"/> 歳	<input type="text"/> <input type="text"/> ヶ月まで
---------	------------------------	--	----	------------------------	--

問 29-4 お勤め先に、育児のために3歳まで休暇を取得できる制度があった場合、「希望」としてはお子さんが何歳何ヶ月の時まで取りたかったですか。□内に数字でご記入ください(数字は一桁に一字)。

<input type="text"/> 歳	<input type="text"/> <input type="text"/> ヶ月
------------------------	--

問 29-5 問 29-3 で実際の復帰と希望が異なる方にうかがいます。

(1) 「希望より早く復帰した方」 当てはまる番号すべてに○をつけてください。

- | | |
|------------------------|--------------------|
| 1. 希望する保育園に入るため | 2. 配偶者や家族の希望があったため |
| 3. 経済的な理由で早く復帰する必要があった | 4. 人事異動の時期に合わせるため |
| 5. その他[具体的に： |] |

(2) 「希望より遅く復帰した方」 当てはまる番号すべてに○をつけてください。

- | | |
|---------------------------|---|
| 1. 希望する保育園に入れなかったため | |
| 2. 自分や子どもなどの体調が思わしくなかったため | |
| 3. 配偶者や家族の希望があったため | |
| 4. 職場の受入れ体制が整っていなかったため | |
| 5. 子どもをみてくれる人がいなかったため | |
| 6. その他[具体的に： |] |

問 29-6 育児休業からの職場復帰時には、短時間勤務制度を利用しましたか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

- | | |
|--------------------|------------|
| 1. 短時間勤務制度を利用した | → 問 30 へ |
| 2. 短時間勤務制度を利用しなかった | → 問 29-7 へ |

問 29-7 問 29-6 で「2. 短時間勤務制度を利用しなかった」に○をした方にうかがいます。短時間勤務制度を利用しなかった理由は何ですか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 職場に短時間勤務制度を取りにくい雰囲気があった
2. 仕事が忙しかった
3. 短時間勤務にすると給与が減額され、経済的に苦しくなる
4. 短時間勤務にすると保育園の入所申請の優先順位が下がる
5. 配偶者が育児休業制度や短時間勤務制度を利用した
6. 配偶者が無職、祖父母等の親族にみてもらえるなど、制度を利用する必要がなかった
7. 子育てや家事に専念するため退職した
8. 職場に短時間勤務制度がなかった（就業規則に定めがなかった）
9. 短時間勤務制度を利用できることを知らなかった
10. その他[具体的に：]

問 29-8 問 29-1 で「2. 現在も育児休業中である」と回答した方にうかがいます。宛名のお子さんが1歳になったときに必ず利用できる保育事業があれば、1歳又は2歳になるまで育児休業を取得しますか。または、利用できる保育事業があっても1歳又は2歳になる前に復帰しますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

1. 1歳になるまで育児休業を取得したい
2. 2歳になるまで育児休業を取得したい
- ~~3.~~ 3. 1歳になる前に復帰したい
4. 2歳になる前に復帰したい

最後に、あなたの子育てや子育て支援に関することをもう少しおたずねします。

問 30 子育てに関する情報は、どちらから入手していますか。当てはまる番号3つまでに○をつけてください。

1. 親族（親・兄弟姉妹など）
2. 近所の人、知人、友人
3. 子育てサークルの仲間
4. 市役所
5. 保育園、幼稚園、学校
6. 地域子育て支援拠点
7. 広報わこう、子育てガイドブック、
ネウボラガイド
- （子育て世代包括支援センター、児童センター（館）、~~もくろみハウス~~）
8. テレビ、ラジオ、新聞
9. 市販の子育て情報誌、育児書
10. インターネット
11. SNS（Twitter、Facebook等）
12. コミュニティ誌
13. その他 []
14. 情報の入手先はない
15. 情報の入手手段がわからない

問 31 あなたは自分にとって子育てを楽しいと感じることが多いと思いますか。それともつらいと感じることが多いと思いますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

1. 楽しいと感じることの方が多い
2. 楽しいと感じることとつらいと感じることが同じくらい
3. つらいと感じることの方が多い
4. その他〔具体的に：]
5. わからない

問 32 和光市は、総合的にみて、子育てしやすいところだと思いますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

- | | |
|------------|----------|
| 1. 子育てしやすい | 2. ふつう |
| 3. 子育てしにくい | 4. わからない |

問 33 和光市にどのくらい住んでいますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

- | | |
|----------|-----------|
| 1. 1年未満 | 2. 1年～3年 |
| 3. 4年～7年 | 4. 8年～10年 |
| 5. 11年以上 | |

問 34 最後に教育・保育環境の充実など子育て支援に関してご意見がございましたら、ご記入願います。

——ご協力ありがとうございました——

**和光市子ども・子育て支援事業計画のためのアンケート調査
就学前児童保護者調査票 参考資料**

各種教育・保育事業利用料

【問 15 関係】 3. 認可保育所 5. 小規模な保育施設

1. 和光市保育認定利用者負担額（保育料）基準額表（保育園・小規模保育事業所）

(単位 円)

階層	区分 定 義		保育標準時間：利用者負担額(月額)		
			3才未満児	3歳児	4歳以上児
1	生活保護法による被保護世帯		0	0	
2	市町村民税所得割額が0円の世帯		7,200	4,800	
3	第1階層及び第2階層に該当する世帯を除き市町村民税の所得額が次の区分に該当する世帯	市町村民税所得割額 48,600円未満	15,600	13,200	
4		市町村民税所得割額 97,000円未満	24,000	21,600	
5		市町村民税所得割額 133,000円未満	32,040	29,880	
6		市町村民税所得割額 169,000円未満	35,600	33,200	
7		市町村民税所得割額 235,000円未満	43,920	36,000	35,000
8		市町村民税所得割額 301,000円未満	48,800	45,000	35,000
9		市町村民税所得割額 349,000円未満	57,600	45,000	35,000
10		市町村民税所得割額 397,000円未満	64,000	45,000	35,000
11		市町村民税所得割額 397,000円以上	83,200	45,000	35,000

※ この表の年齢は、当該年度の4月1日現在の満年齢によります。

※ 4月から8月までの保育料は、保育を利用する年度の前年度の市町村民税所得割額により、9月から3月までの保育料は、保育を利用する年度の市町村民税所得割額により決定します。

2. 利用者負担額（保育料）の減免制度について

(1) 多子世帯の減免

対象者	幼稚園（文部科学省の認可を受けている施設に限る）・特別支援学校の幼稚部・医療型発達支援施設等、または保育所・小規模保育事業所に通園している兄・姉がいる
減免額	幼稚園・保育所・小規模保育事業所利用児童で、対象者から数えて 第2子：半額 第3子：無料

(2) 多子世帯で市民税所得割額が57,700円未満の世帯の減免

対象者		減免後の保育料	
		第2子(兄・姉を含め)	第3子(兄・姉を含め)
		<ul style="list-style-type: none"> 保護者の市民税所得割額の合算が57,700円未満の世帯 保育所、小規模保育事業所等を利用している児童に兄・姉(年齢制限なし。ただし生計を一にしている者に限る)がいる 	
第2階層	市民税が非課税又は市民税所得割額が非課税(均等割のみ)の世帯	保育料 0円	保育料 0円
第3階層	市民税所得割額が48,600円未満の世帯	月額保育料の半額	
第4階層	市民税所得割額が57,700円未満の世帯		

(3) 要保護世帯等の減免

対象者		減免後の保育料	
		第1子(兄・姉を含め)	第2子・第3子(兄・姉を含め)
		<ul style="list-style-type: none"> 保護者の市民税所得割額の合算が77,101円未満の世帯 以下のいずれかの世帯に該当するもの <ul style="list-style-type: none"> ①配偶者のいない世帯で、現に児童を扶養している ②身体障害者手帳/療育手帳/精神障害者手帳の交付を受けた者及び特別児童扶養手当、国民年金の障害者基礎年金の受給者(在宅の者に限る) ③その他要保護世帯等に準ずる程度に困窮していると認められる世帯 保育所、小規模保育事業所等を利用している児童に兄・姉(年齢制限なし。ただし生計を一にしている者に限る)がいる 	
第2階層	市民税が非課税又は市民税所得割額が非課税(均等割のみ)の世帯	月額 0円	保育料 0円
第3階層	市民税所得割額が48,600円未満の世帯	2号認定(満3歳以上) 月額 6,000円	
		3号認定(満3歳以上) 月額 9,000円	
第4階層	市民税所得割額が77,101円未満の世帯	2号認定(満3歳以上) 月額 6,000円	
		3号認定(満3歳以上) 月額 9,000円	

**【問 15 関係】 1. 幼稚園 8. 家庭保育室 11. ファミリー・サポート・センター
12. 一時保育の非定型利用**

幼稚園

【市内幼稚園保育料の一例】

満3歳児・3歳児		4歳児		5歳児	
入園料	保育料	入園料	保育料	入園料	保育料
	月額		月額		月額
65,000	24,500	25,000	23,000	15,000	23,000
～	～	～	～	～	～
85,000	26,500	68,000	25,000	80,000	25,000

※入園料・保育料の他に諸経費（バス代、制服、冷暖房費、給食、父母会費、など）が別途かかる場合があります。

※幼稚園の預かり保育については、実施の有無や料金は園によって様々です。

※満3歳～5歳児を私立幼稚園に就園させている保護者に対して、入園料補助金、保育料補助金を支給する制度があります。支給の金額は市町村民税課税額や世帯にいる幼稚園児の数、扶養人数などで変わります。

家庭保育室 市内には1箇所の家庭保育室があります。
基本保育時間や保育日数、保育料等は施設が定めます。

【保育料の一例】

週5日、基本保育時間（10時間）預けた場合	50,000円
-----------------------	---------

※上記以外に、入園金、昼食代、おやつ代、0歳衛生費、施設費、保険料などの費用が、別途かかる場合があります。

※市では家庭保育室保育料助成を実施しており、世帯の所得税額あるいは市町村民税額によって、**2,000～25,000円の助成金**が家庭保育室に支払われ、保護者の方には助成金額を差し引いた保育料を家庭保育室にお支払いいただいております。助成を受けるには所定の手続きが必要です。

ファミリー・サポート・センター

育児の援助を受けたい人（依頼会員）と育児の援助を提供できる人（協力会員）が事前に活動内容を話し合い、援助活動を行う、有償のボランティア活動です。

依頼会員が協力会員に支払う報酬（30分ごとの報酬額）

平日（月～金）	土・日曜日、祝日	年末・年始
7:00～19:00まで 平日の上記以外の時間	360円 420円	420円 450円

一時保育 ※利用には事前予約が必要です。

実施園 みなみ一時保育室・しらこ一時保育室
市が実施する一時保育の利用料金（月曜～土曜日まで）

延長利用時間	通常利用時間	延長利用時間
7:30～8:30まで	8:30～16:30まで	16:30～18:30まで （土曜日は18:00まで）
200円（30分毎）	2,200円 1,200円（4時間以内）	200円（30分毎）

※上記の他に民間保育園においても、自主事業として一時保育を行っています。

【問 18 関係】各事業の説明

①プレパパママ教室（両親学級）

第1子出産予定の妊婦及びその夫を対象に妊娠、出産、育児に関する知識の普及と仲間づくり・両親での育児啓発を行います。

②新米ママ学級 生後2ヶ月頃の第1子の保護者優先の初めての子育て講座

③赤ちゃん学級 生後5～10ヶ月の赤ちゃんの保護者を対象。赤ちゃんの病気と予防、食育・保育・育児を学ぶための講座です。

④子どもの発育・発達相談・乳児相談

発達専門医や臨床心理士が相談を行い、より専門的な支援が必要な場合、必要な相談先へ連絡調整します。

⑤保育園や幼稚園のあそぼう会等

幼稚園や保育園を利用していない乳幼児や保護者に園庭を開放し、遊び場を提供したり、子育ての相談にも応じています。

⑥産前・産後ケア事業（通所型サービス）

生後4か月のまでの乳児と保護者に対し助産師等が心身のケアを個別に行う事業（「ショートステイ」）、妊産期～生後12か月の乳児親子に対し母体の管理指導や保護者同士の交流の場を提供する事業（「デイケア」）、そして生後56日以内の乳児を一時的に保育する事業（「新生児等一時保育」）があります。

⑦産前・産後ケア事業（自宅訪問型サービス）

乳児及び保護者の居宅を訪問し、育児不安の解消を図るため、育児に関する指導・援助を行う事業（「養育支援訪問（看護型・ヘルパー型）」）と管理栄養士が乳児の保護者に対する栄養指導・調理支援を行う事業（「栄養マネジメント」）があります。

⑧家庭訪問型子育て支援事業（ホームスタート事業）

妊娠～6歳未満の子ども世帯へ研修を受けた地域の子育て経験者が、「傾聴」（親の気持ちを受け止めて話を聞くこと）「協働」（親と一緒に家事や育児、外出をすること）を行う家庭訪問型の子育て支援です。

⑨児童センター・児童館

18歳未満なら誰でも利用し、遊んだり、学んだりできる子どものための施設。市内には、児童センター1館、児童館3館があります。

⑩子ども教室

地域の方々の協力を得て、放課後に小学校で学習・スポーツ・文化芸術活動などを体験する取組です。保護者の就労の有無に関わらず、すべての小学生が利用できます。

⑪わこうっこクラブ

小学校の余裕教室等を活用し、児童が教育活動サポーターの見守りのもと、宿題・自主学習・室内遊び・外遊び等をして放課後を安全に過ごす居場所です。保護者の就労の有無に関わらず、

すべての小学生が利用できます。

⑫わこうプレーパーク

地域団体と協働し0歳～18 際の子どもと保護者を対象にした、子どもの居場所づくりや子どもの育ちを支援する事業です。プレーパークでは、プレーワーカーが子どもや親子の見守りと、自由に創造的な遊びの支援を行います。公園で木登り・焚火・水遊び・綱渡りなどの自由な遊びができます。

【問 21-1 関係】

病児・病後児の保育

- ① 諏訪ひかり保育園内、病児・病後児保育室「やわら」にて実施。
利用料は一律4,000 円。(開設時間は 8 : 30～18 : 00)
- ② キッズエイド吹上保育園にて実施。
利用料は半日単位 2,000 円の利用料がかかります。(開設時間は 9 : 00～17 : 00)

和光市緊急サポート事業

市が業務委託している緊急サポートセンター埼玉の紹介により、病気又は病気の回復期にある児童及び宿泊を伴う児童の保育等の援助を希望する利用会員と援助をしようとするサポート会員の間で行う、お子さんの預かり事業です。

利用会員がサポート会員に支払う謝礼

8時～20時	20時～8時	宿泊(18時～翌朝9時)
1,000 円/時間	1,200/時間	10,000 円/1泊

※原則として3泊まで

【問 25 関係】学童クラブ(学童保育)

対象者 小学校1年生～6年生

保育時間 ①登校日 小学校の放課後～18:00
②休校日(土曜日、振替日、春夏冬休み) 8:00～18:00
※日曜日、祝日、年末年始はお休み

学童クラブ保育料

(単位 円)

区分		保育料(月額)
第1階層	生活保護法受給世帯 前年度分の市町村民税非課税世帯	0
第2階層	前年分の所得税非課税世帯で、前年度分の市町村民税所得割額が5,000円未満である世帯 または、所得割額がなく、均等割額のみ世帯	1,920 (1,530)
第3階層	前年分の所得税非課税世帯で、前年度に課税された市町村民税所得割額が5,000円以上の世帯	3,840 (3,070)
第4階層	前年分の所得税課税額が、90,000円未満の世帯	5,760 (4,600)
第5階層	前年分の所得税課税額が、90,000円以上、150,000円未満の世帯	7,680 (6,140)
第6階層	前年分の所得税課税額が、150,000円以上の世帯	9,700 (7,760)

※（ ）内の金額は多子軽減（2人目以降）の金額です。同一世帯で2人以上の児童が入所した場合、補食（おやつ）代、延長利用料、夏休み等の短期入所を除き、2人目以降の保育料を20%減額します。

※延長保育 18:00～19:00 月額 1,300円（生活保護世帯除く）、日額 300円（5日以上利用した場合は上限月額 1,300円）

※補食（おやつ）代 全階層月額 2,000円

- 補食（おやつ）代の免除 アレルギー等を理由におやつを提供を受けられない児童が対象です。
- 補食（おやつ）代の助成 保育料階層区分表の第1階層に属する世帯の児童が対象です。